

のと鉄道の全線運行再開①

交通政策課 076(225)1332

復旧の経過

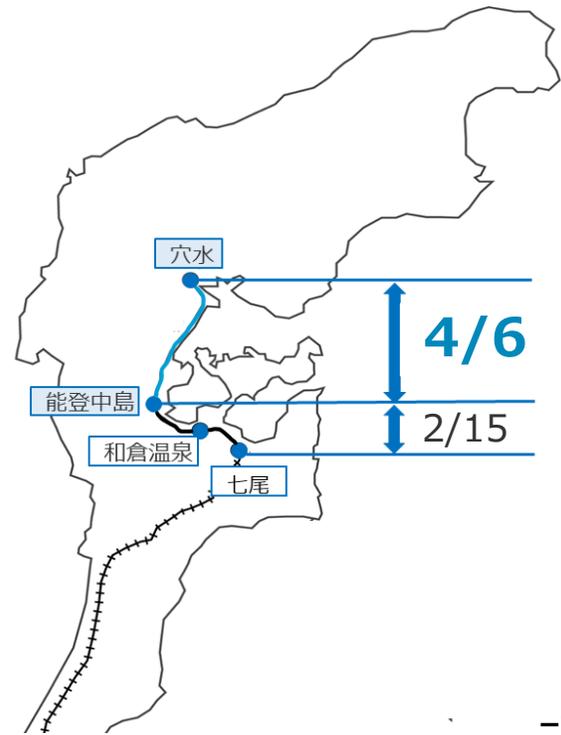
- 能登半島地震により、レールの損傷、法面の崩壊やトンネルへの土砂流入、駅の損壊など
全線にわたって大きな被害を受け、**発災直後から運休**
- 1/9～10国交省(TEC-FORCE)、鉄道・運輸機構鉄道災害調査隊(RAIL-FORCE)が現地調査
- J R西日本は、管内全域の**工事工程等を工夫し、本社等からの工事専門部隊を派遣**
するなど**全力で復旧作業**



線路の損壊箇所



土砂流入したトンネル箇所



- 1月29日(月) 七尾・穴水間でバスによる代行輸送を開始
- 2月15日(木) 七尾・能登中島間で運行再開
- 4月6日(土) 能登中島・穴水間で運行再開⇒**全線での運行再開**
※沿線高校の入学式・始業式に間に合うタイミング

のと鉄道の全線運行再開②

全線運行再開後の運行概要

- 運行再開日：令和6年4月6日（土）
運行区間：七尾～穴水間
運行本数：上下計28本（14往復）
※通常ダイヤ：上下計34本（17往復）

当面の間、能登中島～穴水間では速度を落として運行するため、臨時ダイヤとして運行



復興応援ヘッドマーク掲出列車の運行

- 全線運行再開に合わせ、**復興への願いを込めたヘッドマークを掲出した列車**を運行予定
- ✓ 運行再開日の**4月6日（土）始発から運行**
- 4月6日（土）の穴水駅始発（6：12発）に合わせて**出発式を開催予定**



応急仮設住宅（供給実績）①



- 国交省や全国自治体、プレハブ協会等の協力により、**熊本地震を上回るペース**で着工
- **3月末までの着工目標 4,600戸 → 5,131戸着工、1,643戸完成**

	従来型	まちづくり型（熊本モデル）	ふるさと回帰型（石川モデル）
目的	<p>迅速かつ大量に供給し、避難所生活を早期解消</p> 	<p>里山里海景観に配慮した新たなまちを整備</p> 	<p>地元集落を離れ、みなし仮設等で生活する被災者がふるさとに回帰</p> 
構造	プレハブ	木造（長屋）	木造（戸建風）
着工数（3月末）	4,206戸	919戸	6戸
完成数（3月末）	1,643戸	—	—

応急仮設住宅（必要戸数の精査結果）②



○ ライフラインの復旧状況等により、自宅に帰宅される方々が一定数いることなどを踏まえ、

市町に対し、現時点での応急仮設住宅の**必要戸数**を確認

8,480戸 → **6,610戸**

(1月末時点 市町要望) (3月末時点 市町要望)

○ 引き続き、市町と連携し、必要戸数の精査を続ける

〔3月末時点の要望戸数と着工・完成戸数〕

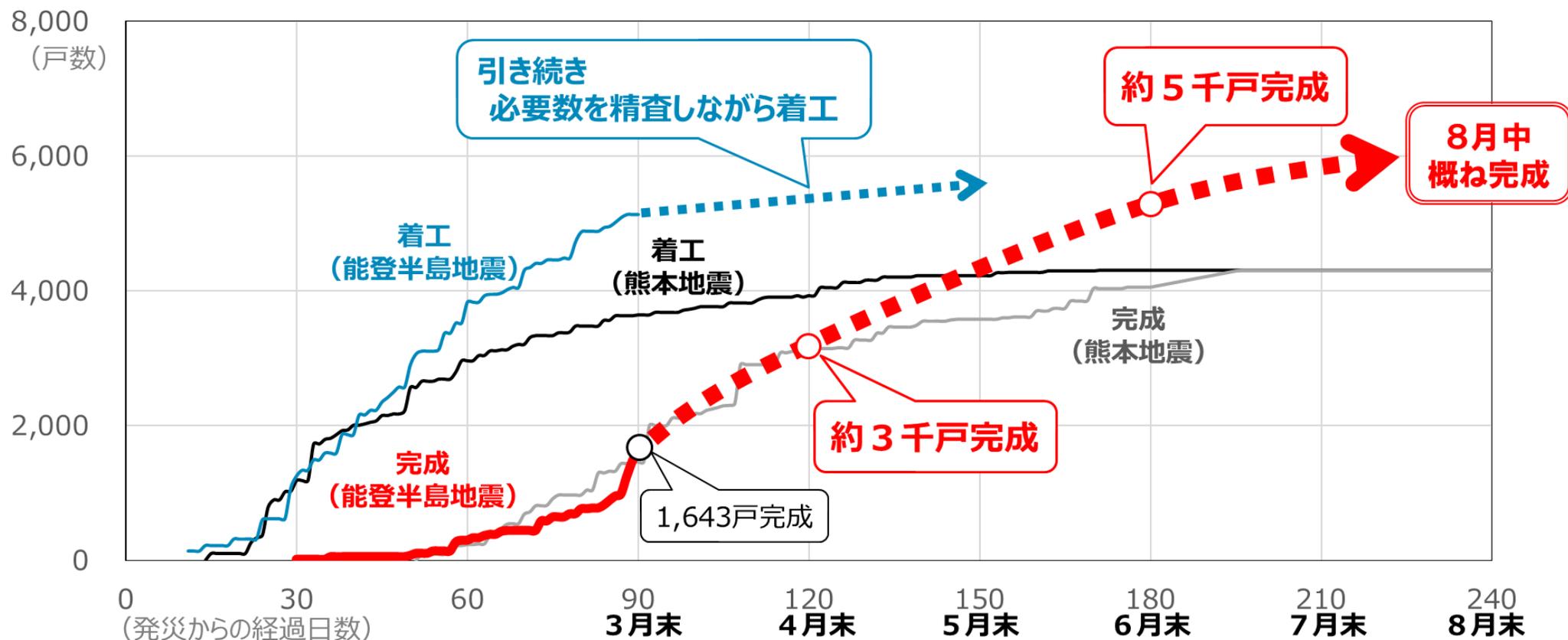
() 内は1月末時点の市町要望

	七尾市	輪島市	珠洲市	羽咋市	内灘町	志賀町	中能登町	穴水町	能登町	計
要望	500 (500)	3,200 (4,000)	1,400 (2,500)	70 (50)	80 (100)	360 (250)	10 (-)	490 (500)	500 (580)	6,610 (8,480)
着工	411	2,425	1,030	67	75	194	10	478	441	5,131
完成	180	657	456	-	65	97	-	76	112	1,643

応急仮設住宅（今後の供給計画）③



- **新規着工**については、**市町と連携し、引き続き、必要戸数を精査しながら進める**
石川モデルについては、**市町を通じて、地域の意向を丁寧に伺いながら進める**
- **完成ベース**では、**4月末までに約3千戸（現必要戸数の5割程度）**
6月末までに約5千戸（現必要戸数の8割程度）
8月中に概ね必要な住宅の完成を目指し、全ての希望者の入居に目途をつける



上下水道の復旧状況と今後の見通し



<断水の状況>

【最大】16市町 約11万戸 (1/1) ⇒ 【現状】5市町 約7,860戸 (3/29)

※約9割解消済

上水道：環境政策課 076(225)1463
下水道：生活排水対策室 076(225)1493

市町	上水道		下水道
	断水状況 現状(3/29)	今後の復旧の見通し	今後の復旧の見通し
輪島市	約2,600戸	4月初旬までに (立入困難な地域等、一部地域は4月以降)	断水解消 に合わせて復旧 集落排水や コミュニティプラントなど についても断水解消 にあわせて復旧予定
珠州市	約4,250戸	4月から5月末に (立入困難な地域等、一部地域は4月以降)	
能登町	約800戸	4月下旬までに	
七尾市	約140戸	4月初旬までに	
内灘町	約70戸	4月初旬までに (液状化の影響がある一部地域は4月以降)	

応急復旧の状況



水道管の復旧作業 (輪島市内)



仮設水道管の設置 (珠州市内)



バキューム吸引 (能登町内)

○上水道の断水が解消しても、宅内の水道管等で漏水している場合、
建物の所有者が工業者に依頼して、修繕していただく必要があります
(参考) 県内各市町の指定する給水装置工事事業者一覧を県HPで掲載 →



⇒引き続き、「上下水道一体」で一日も早い応急復旧を目指す

※国・日本水道協会・全国の自治体など延べ5万人超の応援協力により、鋭意、修繕作業を実施

《 停電被害の状況 》

○ 発災直後は、広範囲にわたり**約 4 万戸の停電**が発生

→内訳 輪島市：約13,000戸、珠洲市：約7,800戸、能登町：約8,900戸、穴水町：約5,300戸
七尾市：約 2,300戸、志賀町：約 800戸、その他市町：約1,700戸

○北陸電力送配電では、他社からの応援を含め 1 千名を超える体制で、関係機関と連携しながら懸命な復旧作業に取り組み、**先月 1 5 日までに県内の停電は復旧**



停電被害の状況と対応②

- このほか、土砂崩れ等により、立ち入りが困難な家屋等については、配電設備復旧後の通電の際に屋内配線の不具合により漏電等の恐れがある。このため、北陸電力送配電が個別に訪問し、現地確認など保安上の必要な措置を講じる形で個別管理を実施

→個別管理している戸数
(R6.3.29現在)

市町	戸数	町名
七尾市	10戸未満	中島町河内、中島町別所
輪島市	約300戸	赤崎町、石休場町、市ノ瀬町、打越町、鷺入町、小池町、大沢町、上大沢町、上黒川町、忍町、下山町、白米町、空熊町、尊利地町、滝又町、名舟町、東山町、別所谷町、町野町大川、町野町寺山、町野町真喜野、門前町浦上、門前町樽見、門前町西円山、門前町宮古場
珠洲市	約30戸	石神町、上戸町南方、大谷町、折戸町、唐笠町、笹波町、清水町、宝立町鶴飼、宝立町大町泥木、宝立町柏原、真浦町、若山町中田
能登町	約10戸	字宇出津山分、字当目
合計	約350戸	

《 対応 》

- 北陸電力送配電は、**個別管理する家屋等についても、道路等の作業現場へのアクセス改善に応じて、出来るだけ早く復旧できるよう進めていく方針**

携帯電話基地局の復旧の進捗状況等

デジタル推進監室 076(225)1320

《 携帯電話基地局の被害と復旧の進捗状況 》

- 6市町（※）の通信可能なエリアは、支障ピーク時において、**被災前の20～30%まで減少**
 （※） 輪島市、珠洲市、穴水町、能登町、七尾市、志賀町
- 様々な手段で**応急復旧**を進めた結果、通信可能エリアは、1/29時点で被災前の96%超、4/1現在で**被災前の99%超まで回復**

・移動型基地局等を活用した応急復旧



船上基地局 (NTTドコモ・KDDI) 可搬型衛星アンテナスターリンク (KDDI) 有線給電ドローン (ソフトバンク) 車載型基地局 (楽天モバイル)

・携帯電話ネットワークの本格復旧



商用電源の復旧 (北陸電力送配電) 光ファイバの張替 (NTT西日本) 基地局の修理 (NTTドコモ)

順次推進



- **本格復旧**についても、全基地局の**90%以上まで進展**。被災地域全般にわたる本格復旧を引き続き推進

《 避難所等における支援 》

- **通信機器の提供**や**タブレット端末を活用した「オンライン再診」**等を、通信事業者が実施



避難所における通信機器の提供 (ソフトバンク)



オンライン再診 (NTTドコモ)

《 地上波放送（テレビ・ラジオ）の被害状況 》

- 発災後、一部地域で停波が発生
 - 1月24日に**県内全域で停波が解消**

《 放送事業者の対応状況 》

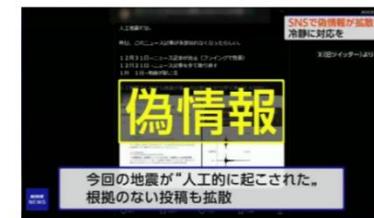
- 自衛隊等の協力のもと、NHK・民放において**中継局の非常用電源に燃料を補給**
 - 燃料枯渇による停波が迫る中、燃料補給により輪島市内の大規模な停波を回避
- 地上波が受信できない方向けに、NHKが**衛星放送を使ってNHK金沢局の番組を放送**
- NHKなどにおいて、**避難所にテレビやアンテナを設置**
 - これまでにテレビを86箇所を設置し、ラジオ1,214台を配布
- NHK・民放において、放送を通じて、能登半島地震に関連する**偽情報・誤情報への注意喚起を実施**



避難所へのテレビ・アンテナの設置
(画像：NHK提供)



偽の救助要請など(1月2日)
安易に拡散しないように冷静な対応を呼びかけ



人工地震(1月2日)
専門家に取材し、人工地震とは考えられないということを報道

偽・誤情報に対する注意喚起

(出典：デジタル空間における情報流通の健全性確保の在り方に関する検討会第12回NHK説明資料)

《 ケーブルテレビの被害状況 》

- 一部地域でケーブルの断線等の**応急復旧作業中**

《 ケーブルテレビの復旧状況 》

- 能登地域は地形的な特殊性により地上波が届きにくく、**ケーブルテレビの依存度が高い**

（参考）ケーブルテレビ普及率：輪島市53.7%、珠洲市70.1%、能登町96.4%、穴水町60.3%

- 被災者の方が信頼できる情報を入手するためにはケーブルテレビの早期復旧が重要



ケーブル網の損壊



順次推進



ケーブル網の応急復旧
（地面敷設）

順次推進



本格復旧

- 穴水町は3月4日に、能登町は3月6日に応急復旧が完了
- 輪島市・珠洲市は作業困難な地域を除き、応急復旧が完了（作業困難な地域は4月以降復旧見込み）

《 本格復旧に向けた取組 》

- ケーブルテレビの復旧に対して、**国庫補助や地方財政措置を拡充**し、本格復旧を加速化

- 国庫補助率を2 / 3にかさ上げ（従来1 / 2）、仮設住宅へのケーブルテレビの敷設等を補助対象とする

県立学校

- 発災後、学校の建物・設備等に甚大な被害が発生。**各学校ではオンラインを活用し、授業を実施。**
- **当面の方針として、教育活動に必要な応急復旧を最優先で実施。本格復旧は被災度区分判定の結果を踏まえ対応。**
- **新学期については、すべての県立学校で例年どおり、入学式・始業式を実施予定。さらに、分散登校や短縮授業を解消し、本校で通常授業を実施予定。**

《 羽咋高校 》

- ・給排水設備の破損のため、羽咋工業高校、羽松高校、国立能登青少年交流の家に分散登校 → **仮復旧により、3月18日から本校で授業実施**



《 田鶴浜高校 》

- ・寮の給排水設備等の破損 → **仮復旧工事中（4月末完了予定）**
※復旧までは国立能登青少年交流の家を利用
- ・校舎の給排水設備の破損のため、鹿西高校と能登総合病院に分散登校
→ **仮復旧により、4月から本校で授業実施**



《 能登高校 》

- ・寮の前の法面の崩落で使用不能 → **仮設寮を建設予定(4月末完成予定)**
※建設までは能登少年自然の家を利用
- ・本校で授業実施





《 穴水高校 》

- ・通学路の崩落により、穴水中学校で授業
→ 通学路を仮復旧し、4月から本校で授業実施



穴水高校（通学路崩落）



穴水高校（通学路仮復旧後）

《 輪島高校・門前高校 》

- ・給排水設備の破損 → 仮復旧済
- ・本校で授業実施



輪島高校（地割れ）



輪島高校（給排水設備仮復旧後）

《 飯田高校 》

- ・給排水設備の破損 → 仮復旧工事中（4月中旬完了予定）
- ・本校で授業実施



飯田高校（地盤沈下）

市町小中学校

○ 能登6市町の全小中学校で、県立学校同様、通常授業を実施（一部の学校で間借り）

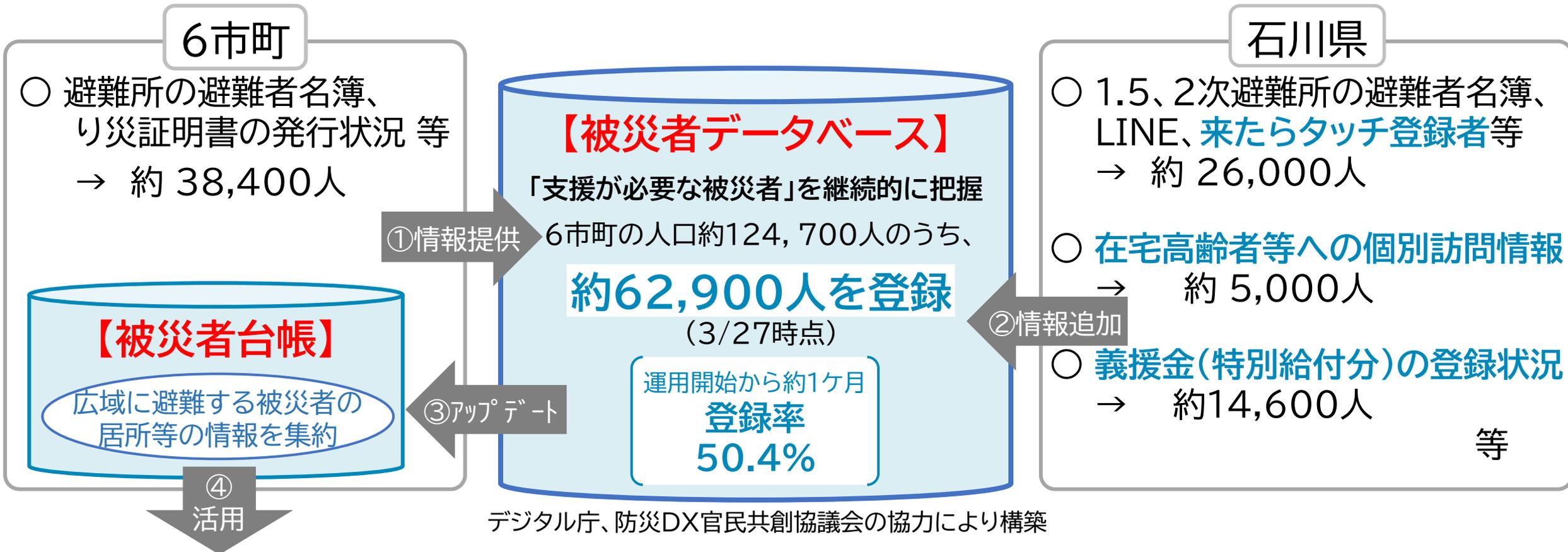
→ 学校数 七尾市:14校、輪島市:12校、珠洲市:11校、志賀町:4校、穴水町:3校、能登町:9校

→ 間借りしている学校 輪島市:8校、志賀町:1校、穴水町:1校、能登町:1校

6市町の被災者台帳の作成支援の状況（被災者データベースの構築）①



- 被害が甚大な6市町の被災者台帳の作成を支援するため被災者データベースを構築
- 被災者の状況等を関係者が共有し、支援の重複・漏れ防止、効率的な被災者支援を実施



○ 災害関連死の防止

→ 被災者見守り・相談支援など

○ 適切な支援情報の提供

→ 給付金の申請案内など

○ 事務負担の軽減

→ 情報収集・集計業務など

6 市町の被災者台帳の作成支援の状況（石川県による情報追加の例） ②



来たらタッチ登録

- ・避難所、入浴施設（自衛隊入浴支援含む）で被災者にSuicaを配布（東日本旅客鉄道(株)の協力を得て実施）
- ・タッチ機能を活用し、被災者自らの情報提供による状況把握
- ・入浴施設利用者の受付が簡略化され、施設側の事務負担を軽減

登録者数_約6,800名(3/27時点)



<Suicaの配布窓口、カードリーダー>

在宅高齢者等への訪問情報登録

- ・被災者の孤立防止等のため、早期の状態把握、必要な支援の提供へのつなぎ等を集中的に実施（被災高齢者等把握事業を活用）

登録者数_約5,000名(3/27時点)

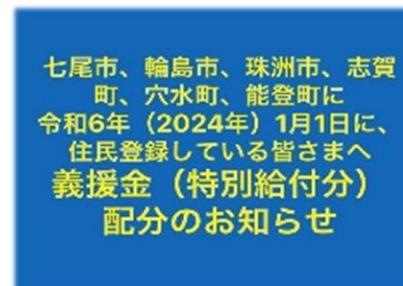


<タブレットを用いた支援記録の作成>

義援金(特別給付分)の登録状況

- ・七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町の全住民に各5万円を配分
- ・オンライン・郵送（2/26～）、窓口（3/18～）での申請受付を開始

登録者数_約14,600人(3/27時点)



配分対象をご確認の上申請にお進みください。

[オンライン申込はこちら](#)

<オンライン申請フォーム>

引き続き、県の支援などを通じて把握した情報を被災者データベースに追加し、**市町とともに効率的に被災者支援を実施**